

平成 29 年度授業改善推進プラン【音楽】

〔教科の観点〕

①音楽への関心・意欲・態度 ②音楽表現の創意工夫 ③音楽表現の技能 ④鑑賞の能力

★新しい学習指導要領に基づいた授業

教科	生徒の実態と分析	指導上の課題	授業改善の視点と方策
1 年	意欲的に授業に取り組んでいると自己評価をしている生徒は、8割を超えている。進め方の早さに関しては、8割の生徒がちょうどよいと答えているが、授業内容の理解に関しては、7割程度の生徒しか、分かると答えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●言語能力の聞く力と理解する力や語彙力が不足している、一部の生徒がいる。 ●学習内容が定着をしない一部の生徒がいる。 ●表現したいイメージをもてない一部の生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●平易な言葉と音楽用語の両方の言葉を使用しながら説明する。 ●理解できたかどうかを一つずつ確認していく。 ●基礎的・基本的な技能を定着させるために、繰り返し指導する。 ●視覚で分かるように工夫する。 ●リズムに関する学習を着実に行う。 ●考えを交流する時間を引き続き授業に取り入れて、イメージと表現方法が一致するように指導する。
2 年	どの項目も平均的に8割近い生徒が「あてはまる」「ややあてはまる」と答えている。意欲的に授業に取り組んでいると自己評価をしている生徒は、8割である。進め方の早さに関しても8割近くの生徒がちょうどよいと答えているにも関わらず、授業内容の理解に関しては、7割程度の生徒しか、分かると答えていない。	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容が定着しない、一部の生徒がいる。 ●一部の生徒が表現したいイメージをもてない。 ●音楽や歌詞の内容から、イメージをもつことが難しい生徒が一部いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ねらいをしっかりと理解させる。 ●基礎的・基本的な能力を定着させるために、繰り返し指導する。 ●理解できたかどうかを一つずつ確認していく。 ●視覚で分かるように工夫する。 ●リズムに関する学習を着実に行う。 ●考えを交流する時間を引き続き取り入れる。 ●イメージと表現方法が一致するように指導する。
3 年	全てのアンケート項目において、肯定的な回答をしている生徒が9割いる。授業には積極的に取り組んでおり、理解も大変早く、質の高い内容ができています。さらに力を付けさせたい。	<ul style="list-style-type: none"> ●ごく一部であるが表現したいイメージをもつことが難しい生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●想像力を働かせてイメージをもって表現させる。 ●視覚で確認できるようにする。 ●共通事項の内容を表現と鑑賞の領域で連動させた指導を行う。特に、リズム・休符・記号などについて段階を追ってワークシート等を用いて指導する。 ●考えの交流する時間を引き続き取り入れる。